

バンクーバー便り3

バンクーバー時間：2023年4月17日8時20分

日本時間：2023年4月18日0時20分

皆さんこんにちは。バンクーバー便り第3報をお送りします。

今回はバンクーバーの交通事情をお話します。バンクーバーも日本同様、車社会です。米国と少し違う印象は、自家用車に汚れやキズが少なくきれいなことです。熱心に洗車をする人が多い様には思えないのですが。運転は乱暴ではなく、歩行者が横断しているときに行儀よく停車します。車のメーカーは圧倒的にトヨタ、次いでホンダです。しかも日本では見たこともないトヨタやホンダがあり、外国仕様なのでしょうか。他に、ドイツ車(ベンツ、BMW、アウディ)、日本車(スズキ、マツダ)、韓国車です。

意外だったのは、公共交通が発達していることです。市内にはバスとスカイトレインがあります。市内は京都のように碁盤の目になっており、南北がストリート、東西がアヴェニューです。アヴェニューは北から1番、2番...71番と番号がついています。主要なストリートやアヴェニューにバスが走っていますが、日本と違うのはバスがストリートやアヴェニューをクネクネ動き回ることなく、直線移動のため乗り降りが分かりやすく、到着時刻がバスにもかかわらずかなり正確です。しかも、スマホのアプリで乗車場所に来るバスの時刻や、バスの現在位置、延着時間などが分かります。バスは2両編成でかなり大きなのですが定員45~50名で概して座れます。化石燃料のバスはアヴェニューを中心に走っていますが、主要道路はトロリーバスで、誇らしげに「このバスは水で動いています」と表示し、環境問題への関心を示しています。乗車時にはバスがしゃがんで段差を少なくしてくれます。

スカイトレインは神戸のポートアイランド線や東京のゆりかもめのような新交通システムです。南北に走り、北のダウンタウンから中国系の人が多い南のリッチモンドと、その手前で枝分かれをして空港へ行く線があります。コンパスというデポジットカード(ICOCAなどと同様)やスマホで乗車します。バスの乗車料金は成人250円程度(高齢者205円程度)ですが、1時間以内であれば何度でも乗降でき、スカイトレインとも共通で乗り継ぎも容易です。

最後にご紹介したいのはカーシェアリングです。バンクーバーには2つの会社があるようですが、その1つのイーヴォ eVoはバンクーバー市内に1700台以上があり、全て黒のトヨタプリウス。イーヴォは1時間1800円程度の料金で、市内全域で利用できます。スマホアプリの操作で、自分の居場所周辺のイーヴォを地図上に示すので最も近くのイーヴォをスマホで予約、車の場所に行きスマホ操作でエンジンがかかります。目的地に着いて乗り捨てることも、用事を済まして再利用することもできます。長く時間のかかる時には乗り捨て、用事終了後近くのイーヴォをさがして帰るのが得策です。

バンクーバーの交通事情を紹介しましたが、スマホが有効利用されている実感です。スマホがおもちゃになっている日本の子ども達に、スマホは生活道具の一つと実感してほしいものです。

